～懐かしいロシアの音楽～

松村英臣
チャイコフスキーを弾く

◆「四季」Op. 37b　全12曲

◆ピアノ三重奏曲
「ある偉大な芸術家の思い出に」
イ短調、Op. 50

ピアノ：松村 英臣
ヴァイオリン：日比 浩一
チェロ：日野 俊介

2018年11月25日（日）
開演16:00（開場15:30）

60席限定　¥4,000

主催
会場　**Le Nuvole**

チケットお申し込み
Tel:　06-6377-0750
Mail:info@lenuvole.jp

【松村英臣】大阪音楽大学附属高等学校を経て大阪音楽大学卒業、同大学院修了。90年第９回チャイコフスキー国際コンクールにおいて、ディプロマを受けると共にベスト・バッハ演奏者賞を受賞、モスクワ音楽院大ホールにおける記念演奏会に出演。以後の活躍は目覚ましく、国内でも大阪府民劇場奨励賞、東京ベストサンクス賞、大阪文化祭賞奨励賞、文化庁芸術祭優秀賞など数多くの賞を受賞。７回にわたってベートーヴェンのピアノソナタ全曲演奏を行い、続いて4回にわたりJ.S.バッハの平均律クラヴィーア曲集全曲を演奏。ダイナミズム溢れる深い構築性によって、ヴィルトゥオーソとしての力量を示した。また、オーケストラとの協演も多くいずれも高い評価を得ている。その活動はソロのみならず、声楽や器楽のリサイタルの伴奏者としての信頼も厚く、独自のピアニズムの世界を築き上げている。ＣＤでは『チャイコフスキー〈四季〉』『松村英臣ロマンティックセレクション』がリリースされている。現在、大阪音楽大学講師。日本演奏連盟会員。

【日比浩一】1984年京都市立芸術大学音楽学部卒業、同時に音楽学部賞を受賞。その後、神戸室内合奏団（現・神戸市室内管弦楽団)ソロヴァイオリン奏者、関西フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターを経て現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター。これまでに神戸室内合奏団、テレマン室内管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団と協演したのをはじめ、京都・大阪・神戸でリサイタルを開催、NHK-FMにも出演した。また、京都フィルハーモニー室内合奏団客員コンサートマスター、ザ・ストリングス名古屋、井上まゆみピアノトリオ、アンサンブル・ベガのメンバーとしてなど幅広い演奏活動を行っている。第32回全国学生音楽コンクール西日本大会第２位。ヴァイオリンを江口邦子、（故）篠原虎一、（故）岩淵龍太郎の各氏に、室内楽を梅原ひまり、岸邉百百雄の各氏に師事。名古屋芸術大学教授、大阪音楽大学特任教授、大阪樟蔭女子大学客員教授、愛知県立芸術大学非常勤講師。（社）日本演奏連盟、宝塚演奏家連盟会員。

【日野俊介】京都市立芸術大学卒業。京都音楽協会賞受賞。神戸室内合奏団(現・神戸市室内合奏団)、大阪センチュリー交響楽団(現・日本センチュリー交響楽団)、いずみシンフェニエッタを経て、現在は関西フィルハーモニー管弦楽団特別契約首席奏者として活躍する。一昨年の同楽団のヨーロッパ公演にも参加した。一方フリー奏者としても活動し、関西をはじめ地方の楽団などでも数多く客演を務める。他に、ソロや室内楽にも意欲的に取り組み、アフター・アワーズ・セッション他多くの団体で演奏する。

レ・ヌーヴォレ
〒531-0071　大阪市北区中津3-10-7
TEL: 06-6377-0750　　http://lenuvole.jp
☞ **地下鉄御堂筋線　中津駅　徒歩５分**
2番出口を右へ出て1つ目の信号、セブンイレブンの角を右へ。JRのガードをくぐると「レ・ヌーヴォレ」の看板あり。そちらを右に曲がる。
☞ **阪急　中津駅　徒歩３分**
駅改札を出て階段を降りる。
ファミリーマートと公園の間を進む。
つきあたりを右へ曲がる。